

港区高齢者専用アプリ「チャレンジみなと」の運用開始について

区は、高齢者が気軽に介護予防に取り組むことができるよう、多くの方が保有するスマートフォン（以下「スマホ」といいます。）を活用した高齢者専用アプリ「チャレンジみなと」の運用を本格的に開始します。

1 目的

高齢者が自立した生活を維持していけるよう、自らの生活に合わせた介護予防・フレイル予防に取り組むことができる環境づくりを支援するため

2 対象者

スマホを所有する60歳以上の区民

※ スマホの操作として、文字の入力や写真の撮影が必要です。

3 運用開始日

令和6年4月19日（金）

4 概要

(1) アプリの名称

「チャレンジみなと」

※ 委託事業者が開発・運用中のアプリ「みんなチャレ」内に港区専用サイトを設けます。

(2) 参加費用

無料

(3) 基本的な機能と取組内容

毎日、歩数を自動で計測し、写真を手動で撮影・投稿し、チーム内（項番5のとおり）で共有します。

(4) 期待する効果

ア 身体を動かすきっかけになること。

イ 社会とのつながりが増えること。

※ その他、文字入力や写真撮影など、スマホの操作性の向上にもつながります。

5 参加方法

- (1) 区主催の使い方教室への参加（計2回）
- (2) 「チャレンジみなど」をインストールし、利用者登録の手続（港区専用の二次元コードを読み込み）
- (3) 最大5人1組のチームを編成

6 利用方法

- (1) スマホを携帯し、チームで決めた目標の歩数を目指して歩きます。
- (2) スマホのカメラで1日1回写真を撮影し投稿します（チームのメンバー間で共有）。
- (3) メンバーの投稿に「OK」で反応（リアクション）します。
- (4) 上記（1）～（3）を毎日繰り返しながら、メンバー間で励まし合うなどやりとりを行います。

7 寄付プロジェクト

「チャレンジみなど」の継続的な利用とモチベーションの維持・向上を促進するため、目標の達成等に応じてコインを付与し、社会貢献に活用（寄付）できる仕組みを設けます。

「チャレンジみなど」の運用開始時点では、寄付事業者1社、寄付先1団体ですが、今後、寄付事業者や寄付先を拡充し、選択肢を広げます。

(1) 寄付事業者

ミナトホールディングス株式会社（港区新橋4-21-3 新橋東急ビル6階）
デジタル機器等の製造、販売等

(2) 寄付先の団体

NPO法人みなど子ども食堂（港区東麻布1-8-14 日下部ビル202号室）

(3) 寄付の内容（予定）

お米 200世帯分

8 参加者へのサポート体制

- (1) 「チャレンジみなど」の利用開始前及び利用開始1週間後に使い方教室を計2回実施し、基本的な操作方法を説明し、理解促進を図ります。
- (2) 「チャレンジみなど」の利用開始後は、参加者向けの電話相談窓口（平日の10時～17時）を設け、不明点や疑問点などに丁寧に対応し、利用継続を支援します。

9 今後のスケジュール（予定）

令和6年4月以降	事業参加者向け教室を適宜開催 寄付事業者の継続的な募集、寄付先の調整
令和7年3月	参加者による交流会の実施（アプリの利用継続を後押し）



「チャレンジみなと」 港区寄付プロジェクトまでの流れ

令和6年4月24日 資料No.1-2
保健福祉常任委員会



高齢者支援課

